

シンポジウム：国内外の農業開発に携わる人材の育成を考える

* 「田舎で働き隊」農業実践研修の経験から

海外農業開発協会は、農業のグローバル化が進行するなか、わが国の農村地域振興と海外での農業開発協力の双方を視野に入れた、人材・技術の交流、新たな人材の発掘・育成システムの構築を目指しています。

官民の農業技術者、青年海外協力隊経験者など海外で農業開発に携わった経験を持つ多様な人材が国内の農村地域に向かう体制が整えば地域の活性化にインパクトを与え、農村地域の活性化・農業振興が実現すれば地域に根ざした海外農業協力を携われる人材が輩出されると考えます。

本シンポジウムでは、平成20年から23年まで群馬県、長野県、新潟県の地域組織、農家の方々と共に地域活性化のための人材育成システム構築を目的に取り組んだ農業実践研修活動を振り返り、中長期的視野から課題を整理し、会場の皆様のご意見もいただきながら対応策を探ります。

* 「田舎で働き隊」は、農林水産省による農村の担い手育成のための補助金・交付金事業（平成20年度から23年度）の俗称です。

記

日 時：平成23年12月6日（木） 14時～16時30分

会 場：アジア会館 2階会議室

東京都港区赤坂8-10-32 （<http://www.asiacenter.or.jp/access/>）

最寄駅は銀座線・半蔵門線・大江戸線の青山一丁目駅または千代田線の乃木坂駅

参加費：無料

定 員：40名（先着順）

申込方法：氏名、所属、連絡先を明記のうえ、下記FAXまたはメール宛てにご連絡ください。

FAX 番号：03-3401-6048 メール：kasseika@oada.or.jp

プログラム：

【現地報告】

「田舎で働き隊」農業研修員受入先から

甘楽町 矢島亮一氏 特定非営利活動法人自然塾寺子屋 理事長

岡谷市 片倉和人氏 特定非営利活動法人農と人とくらし研究センター 代表理事

上越市 藤本彰三氏 株式会社じょうえつ東京農大 代表取締役社長

沼田市 中島基貴氏 雪国アグリ株式会社 取締役

「ふるさと新生モデル事業」（http://www.joca.or.jp/activities/japan/furusato_shinsei/）

遠野市 大塚正明氏 公益社団法人青年海外協力協会 常務理事

【パネルディスカッション】

パネリスト：報告者5氏

元 農業研修員1名（予定）

司 会：板垣啓四郎氏 東京農業大学 教授